

こども・若者のカワークショップ参加者による提言について

1 ワークショップの概要

小学生から中学生までの子どもたちが、自分たちを取り巻く身近な課題などについて深く考え、意見交換することで、千葉市や社会に対する考えを深めることを目的に実施している。

また、ワークショップで提言された意見については、市政やまちづくりに可能な範囲で反映させることを目指している。

実施にあたっては、テーマ（年間で2～3）を設定した上で参加者を募集し、主に子ども交流館において月1回程度活動を行っている。

2 令和5年度上半期テーマ

「(仮称) こども基本条例を考えよう」

3 参加者数

- ・小学生：2年生1名、4年生6名、5年生5名、6年生5名
- ・中学生：1年生3名、2年生1名、3年生1名
- ・合計：22名

4 活動内容

(1) 5月28日(日)

ワークショップの趣旨説明、自己紹介・アイスブレイク、甲斐田万智子教授（文京学院大学・NPO 法人国際子ども権利センター）による権利に関する情報提供（「世界の子ども権利カルタ」を使用）、ワーク（みんなに伝えたい権利ベスト3の選定）等

(2) 6月25日(日)

世界の子ども権利カルタを使ったアイスブレイク、前回振り返り、こども企画課職員による「(仮称) 千葉市こども基本条例」説明、ワーク（こどもの権利や条例づくりのことを知ってもらうには）等

※「アンケートでクラスみんなに聞きたいことは？」との問いを投げかけたところ、アンケート形式だと答えにくいかもしれないとの意見から、クイズ形式にして学校で行うことになった。

(3) 7月23日(日)

前回振り返り、アイスブレイク、ワーク1（クイズづくり）、ワーク2（提言に向けて「守られていると感じる権利」「守られていないと感じる権利」のエピソード列挙）等

(4) 8月6日(日)

前回振り返り、アイスブレイク、ワーク1(クイズづくりとして班ごとに清書、低学年向けクイズ作成、問題確認を実施)、ワーク2(提言に向けて)等

(5) 8月18日(金)

前回振り返り、アイスブレイク、ワーク(クイズづくり)

※夏休み明けに参加者の通う学校にてクイズを実施することが決定

(6) 9月10日(日)

学校で実施したクイズの集計及び結果確認、エピソードの分類・振り返り

(7) 9月18日(月)

クイズ(追加分)の集計、発表に向けた内容整理及び発表原稿作成(①活動内容、②クイズ結果報告、③提言、④理想の千葉市の4班に分かれて活動)

(8) 10月1日(日)

発表原稿作成及び発表練習

※ワークの様子

